

令和2年度 高生中学校 文化発表会 開催（12月4日）

～「世界を知ること」が「自分を知ること」そして「今の自分を支えてくれる人に感謝すること」～

今年度の文化発表会のテーマは、「感謝～小さなことが世界を変える」として、学年合唱や全校合唱は中止して、各学年テーマを設定して調べ学習を行い、他学年に発表する取組を行いました。

1年生は「世界を幸せに、豊かにしてくれた人々」をテーマに「中村哲氏」等を調べ、2年生は「戦後75年 私たちが忘れてはいけないもの」として「戦争時の学校」等を調べ、3年生は「私たちの未来を守るために」として「難民問題」等を調べました。

さらに、展示では各教科や部活での作品の他、生徒全員が描いた絵を貼り合わせて作った巨大画もありました。

今年の文化発表会の目的は、調べ学習を通して、これからの社会で生きるために大切な力（仲間と話し合い発表するコミュニケーション能力、情報を収集しまとめる力、仲間と協力する協調性、課題を解決する能力等）の育成です。そして、このコロナ禍において、「みんなで力を合わせることの大切さ」と「自分を支えてくれる人への感謝の思い」を感じさせたいと思いました。この目的の達成のために、生徒会がオープニングやエンディングで、心に響くステージを見せてくれて大きな役割を果たしました。この文化発表会で、自分たちの心を育てたものを、今後の生活に生かしてほしいと思います。

最後に、土曜日のお忙し中観覧していただいた保護者の皆様、受付や感染防止のための検温や消毒をして下さったPTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

第3学年 生徒感想

エンディングの書道で、「感謝」と書いているのを見て、自分では感謝していると思うけど、感謝の言葉をあまり言わないから伝わっていないと感じました。これからは、感謝の言葉をしっかりと言おうと思いました。

今の世界は本当に平和なのかというオープニングを見たときに、カンボジアの人が貧困で3歳から仕事を始める等、日本ではありえないことが起きていることがわかった。もう一度今までの生活にありがたみをもって過ごしたいと思った。

2年生のプレゼンを聞いて、私たちの暮らしはとても豊かだったんだなと思った。私は好き嫌いが激しいので、嫌いなものにも挑戦しようと思った。

自分たちの生活を振り返って、たくさん感謝する場面があった。小さなことにも気づいて、「ありがとう」と言える人になりたいと思った。

第2学年 生徒感想

今日の文化発表会を通して、自分達が調べたことは世界を変えることにつながるとわかりました。エンディングでの今の私たちの生活は誰かがしてきた努力があるからで、私たちの祖先が命のバトンをつないでくれたからということが心に残りました。今の私にできる大切な人や自分を大切にすること、そしてそれを周りの人に伝えることをして、少しでも世界が変わればいいなと思いました。

戦争について調べて分かったことは、僕らは「戦争をしてはいけない。」と大人から言われてそう考えるようになっただけで、肝心の実態を理解していなかった。「戦争を知ること」は、「平和を知ること」「世界を知ること」になる。最終的には「自分を知ること」「自分を見つめなおすこと」だと思いました。

コロナでもコロナじゃなくても、全学年が心をつなぐことができるのは、高生中のよいところだと思う。

昨年とは違ったけど、様々な工夫があり、今できる最善の形と改めて思い、コロナ禍でこれだけすごい文化発表会をできることを本当にすごいと思い、誇りに思いました。こんな状況でも工夫を重ねれば、素晴らしいものをつくりあげることができると知った私たちは、それを来年に生かしたいと思いました。

第1学年 生徒感想

学校行事は、一人だけが頑張ったりしても上手くいかないけど、みんなが協力したり、一人一人が一生懸命に取り組むことで成功へとつながり、他の事にも生かすことができると改めて感じました。学年関係なく、一つのことにも夢中になれることはすてきなことだなと思いました。

生徒会のオープニング等を見て、「努力」がとても大切だということがよくわかりました。自分も目標を達成するために、努力をたくさんしていきたいです。

高生中学校の生徒全員が一生懸命に色塗りをして作り上げたモザイクアートを見て、新型コロナウイルスの影響で、みんなが一つの場所に集まって何かはできないけれど、一人一人がつくったものが一つの大きな作品になったということにとっても感動しました。

皆が知らない間に準備や片づけをしている生徒会に感謝したいです。何か人のために貢献することは大切であり、達成感もあると思います。僕も苦手なことから逃げずに努力したいと思います。

